資料 1-1

芽室町　酪農・肉用牛生産近代化計画書(案)の概要について

計画の趣旨　芽室町における酪農及び肉用牛の生産の近代化を計画的に推進するため、必要な施策の方向性と目標を明らかにするもの。

計画の位置づけ　国の基本方針や北海道の計画と整合性を図りつつ、実情に即した計画とする。

計画期間　令和８年度～令和 12 年度（５か年計画）

１．酪農及び肉用牛生産の近代化に関する方針

芽室町の基幹産業である酪農・肉用牛生産を持続的に発展させ、意欲ある経営体が将来にわたり安定的に経営を継続できるよう、労働生産性の向上、経営基盤の強化、環境への配慮、家畜衛生等の向上を図るとともに、地域資源を最大限に活用した循環型農業の実現を目指す計画です。

２．前回計画（令和３年～令和１２年度）からの主な変更点・見直しポイント

① AI・デジタル技術の活用を重点施策として位置付け、具体的取組を拡充

② 夏季の暑熱対策や家畜衛生対策の充実・強化

③ 環境負荷低減や地域資源循環の取組をより一層推進する内容に見直し

３．主要な取組内容

① 外部預託やスマート農業技術の導入により労働負担を軽減させつつ、関係機関による技術指導や牛群鑑定、ヘルパー確保や地域連携を通じて生産性と経営基盤を強化し、持続的な生産基盤と収益性の向上を目指します。

② 家畜排せつ物の適正処理による地域循環型農業の推進と徹底した衛生管理・防疫体制の強化を目指します。

③ 草地整備や機械導入、食料創造副産物活用による自給飼料生産の効率化と拡大を目指します。

④ 災害に強い情報共有体制の構築、GAP・アニマルウェルフェアの推進、及び食育を通じた生産物への信頼・理解の醸成に努めます。

⑤ ブランド化の推進と販路の確立による、消費者ニーズに応じた肉用牛の供給体制の構築を目指します

４．数値目標

項目	**平成 30 年度（前回計画値）**	**令和５年度（現在値）**	**令和 12 年度(目標値)**
生乳生産量	35,055t	33,756t	36,000t
乳牛総頭数	6,778 頭	7,040 頭	7,155 頭
肉用牛総頭数	17,338 頭	16,034 頭	16,354 頭